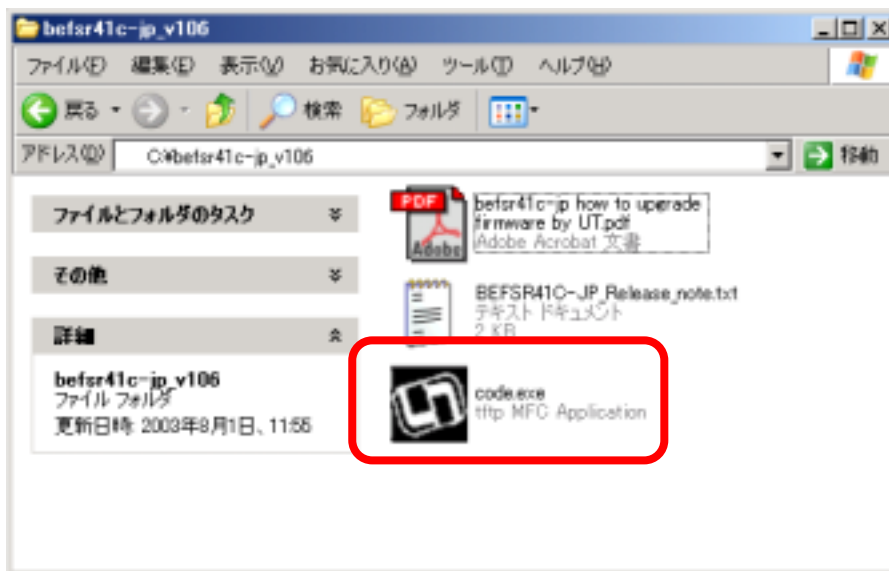
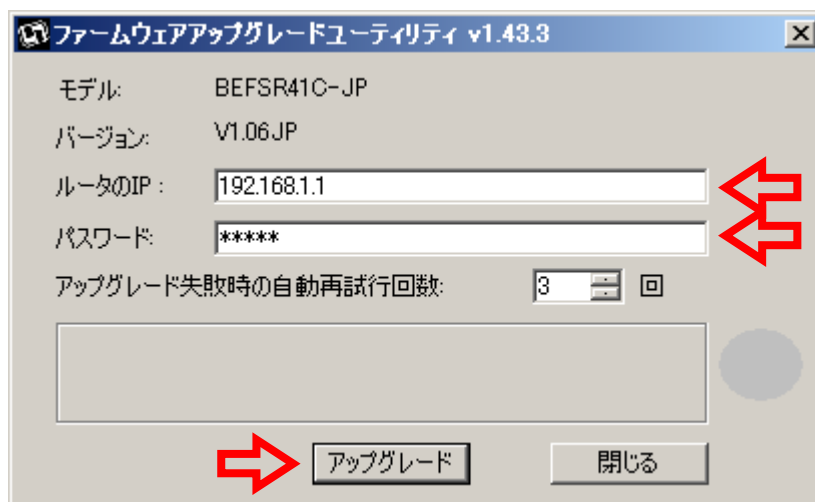


BEFSR41C-JP ファームウェアアップデート(ユーティリティ版) 手順書

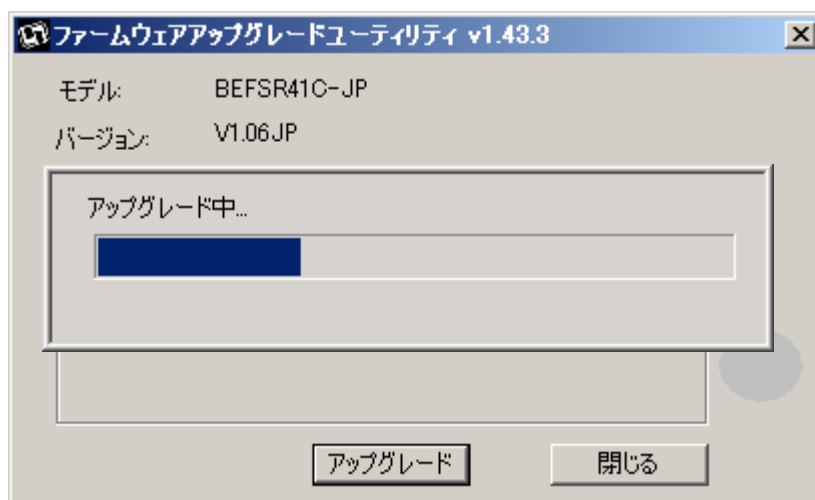
1. ダウンロードしたファームウェアファイルを保存し実行(解凍)します。
2. ファイルを解凍したフォルダを開き、その中にある「code.exe」をダブルクリックして実行します。



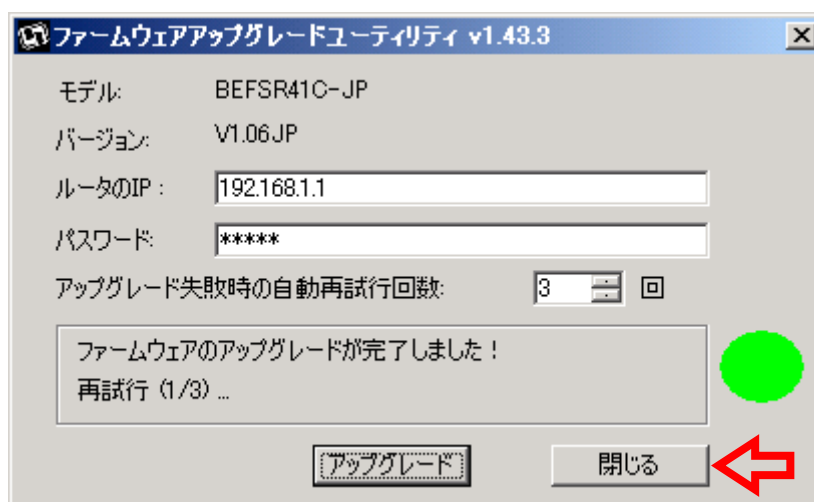
3. 画面が表示されたら、パスワード欄に BEFSR41C に設定されているログインパスワードを入力してください。また、表示されている IP アドレスがルータの IP アドレスと異なる場合は、設定されているアドレスを再入力してください。(BEFSR41C の出荷時設定パスワードは、「admin」、出荷時設定 IP アドレスは「192.168.1.1」です。出荷時から設定変更をされている場合は、変更したパスワード、IP アドレスを入力してください。)入力内容確認後、「OK」ボタンをクリックすると、アップデートが開始されます。



4. アップグレードが完了するまで、数十秒～数分かかりますのでしばらくお待ちください。



5. 「ファームウェアのアップグレードが完了しました」というメッセージが表示されたら、アップグレード完了です。「閉じる」ボタンをクリックしてアップグレードユーティリティを終了させてください。



※ 「再試行」という表示が出たままですが、アップグレードは正常に完了しています。そのままアップグレードユーティリティを終了させてください。

※ アップグレード完了後、ルータは再起動し自己診断モードに入ります。自己診断中は本体前面のDiagランプが点灯します。消灯するまでルータへのアクセスを行なわないでください。

※ アップグレードに失敗した場合など、Diagランプが点滅して、ルータのセットアップ画面にアクセスできない場合は、別紙の「ファームウェアのリカバリ方法」の手順に従い、ファームウェアのリカバリをお試しください。

※ Diagランプが点灯したまま消灯しない場合、リカバリを行っても点滅が解消されない場合は、ルータのハードウェア的な故障の可能性が非常に高いと思われます。リンクス カスタマー サポートまで、お問い合わせください。

ご注意ください！



ファームウェアのアップグレードに失敗すると、本機がご利用いただけなくなる場合があります。作業は本説明を良くお読みいただいた上で、慎重に行ってください。



ファームウェアアップグレード後は動作安定のため BEFSR41C の初期化が必要になる場合があります。アップグレード実行前に必要な情報をお手元にご用意ください。



ファームウェアのアップグレードを行なう最中は、BEFSR41C と他の機器間で通信を行わないで下さい。アップグレードに失敗する恐れがあります。BEFSR41C の Internet ポートに接続されたケーブルを取り外し、LAN 側のポートに 1 台だけ接続したコンピュータからアップグレードを行なうことをお勧めします。



セキュリティソフトウェアなど、通信を監視するソフトウェアが稼動しているコンピュータからアップグレードを行なうと、アップグレードに失敗する恐れがあります。監視ソフトウェアが稼動していないコンピュータ、または無効にしてからアップグレードを実行してください。



現在アップグレードが可能な OS は、Microsoft Windows 98/ME/2000/XP に限られます。あらかじめご了承ください。



アップグレード失敗などの原因により、Diag ランプが点滅してしまった場合は、ファームウェアのリカバリを行なうことにより、改善される可能性があります。別紙「ファームウェアのリカバリ方法」を参照いただき、ファームウェアのリカバリをお試しください。